

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned}
 & 8 \times \frac{1}{4} \\
 & = \frac{\cancel{8}^2 \times 1}{\cancel{4}_1} \\
 & = \frac{2}{1} \\
 & = 2
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & 10 \times \left(-\frac{1}{5}\right) \\
 & = \text{○} \frac{10 \times 1}{5} \\
 & = \text{○}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{5}{6}\right) \times 9 \\
 & = \text{○} \frac{5 \times 9}{6} \\
 & = \text{○}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & (-8) \times \left(-\frac{5}{12}\right) \\
 & = \text{○} \frac{8 \times 5}{12} \\
 & =
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{2}{9}\right) \times (-3) \\
 & = \text{○} \frac{2 \times 3}{9} \\
 & = \text{○}
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned}
 & -\frac{10}{3} \times \frac{9}{10} \\
 & = -\frac{\cancel{10}^1 \times 9}{3 \times \cancel{10}_1} \\
 & = -\frac{3}{1} \\
 & = -3
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{3}{4}\right) \times \left(-\frac{4}{9}\right) \\
 & = \textcircled{+} \frac{3 \times 4}{4 \times 9}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{6}{5}\right) \times \frac{4}{9} \\
 & = \textcircled{-} \frac{6 \times 4}{5 \times 9}
 \end{aligned}$$

= ○

= ○

$$\begin{aligned}
 & \frac{5}{9} \times \left(-\frac{4}{15}\right) \\
 & = \textcircled{-} \frac{5 \times 4}{9 \times 15}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{12}{7}\right) \times \left(-\frac{5}{2}\right) \\
 & = \textcircled{+} \frac{12 \times 5}{7 \times 2}
 \end{aligned}$$

= ○

= ○

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned} & \frac{9}{8} \times \left(-\frac{4}{9}\right) \times \left(-\frac{5}{3}\right) \\ &= \frac{9 \times 4 \times 5}{8 \times 9 \times 3} \\ &= \frac{5}{6} \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned} & \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{6}{5} \times \frac{5}{9} \\ &= \text{○} \frac{1 \times 6 \times 5}{2 \times 5 \times 9} \end{aligned}$$

= ○

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned} & 12 \times \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{5}{9} \\ &= \text{○} \frac{12 \times 1 \times 5}{2 \times 9} \end{aligned}$$

= ○

$$\begin{aligned} & \frac{3}{8} \times \left(-\frac{4}{7}\right) \times \left(-\frac{4}{3}\right) \\ &= \text{○} \frac{3 \times 4 \times 4}{8 \times 7 \times 3} \end{aligned}$$

= ○

$$\begin{aligned} & \left(-\frac{6}{7}\right) \times (-4) \times \left(-\frac{2}{3}\right) \\ &= \text{○} \frac{6 \times 4 \times 2}{7 \times 3} \end{aligned}$$

= ○

約分を伴う計算④

例題

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

$$\begin{aligned}
 & (-3) \times \left(-\frac{2}{15}\right) \times (-5) \\
 &= -\frac{3 \times 2 \times 5}{15} \\
 &= -\frac{2}{1} = -2
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & (-10) \times \left(-\frac{5}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \text{---} \\
 &= \text{○}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{9}{14}\right) \times \left(-\frac{7}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \text{---} \\
 &= \text{○}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{4}{7}\right) \times 14 \\
 &= \text{○} \times \text{---} \\
 &= \text{○}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{9}{10}\right) \times \left(-\frac{2}{3}\right) \times \left(-\frac{5}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \frac{\times}{\times} \times \frac{\times}{\times} \\
 &= \text{○}
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

逆数

4の逆数 $\rightarrow \frac{1}{4}$

-5の逆数 $\rightarrow \left(-\frac{1}{5}\right)$

$\left(-\frac{4}{3}\right)$ の逆数 $\rightarrow \left(-\frac{3}{4}\right)$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$6 \div \left(-\frac{3}{2}\right)$$

$$= 6 \times \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= \text{○} \frac{6 \times 2}{3}$$

=

- 乗法だけの式にする、
逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\frac{8}{9} \div \left(-\frac{3}{2}\right)$$

$$= \frac{8}{9} \times \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= \text{○} \frac{8 \times 2}{9 \times 3}$$

=

$$\left(-\frac{2}{7}\right) \div (-4)$$

$$= \left(-\frac{2}{7}\right) \times \left(-\frac{1}{4}\right)$$

$$= \text{○} \frac{2 \times 1}{7 \times 4}$$

=

$$\frac{3}{2} \div \left(-\frac{5}{7}\right)$$

$$= \frac{3}{2} \times \left(-\frac{7}{5}\right)$$

$$= \text{○} \frac{3 \times 7}{2 \times 5}$$

=

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

逆数をかける

$$\frac{2}{3} \div \left(-\frac{5}{6}\right)$$

↓ ↓

$$= \frac{2}{3} \times \left(-\frac{6}{5}\right)$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\frac{2}{3} \div \left(-\frac{7}{3}\right)$$

$$= \frac{2}{3} \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= \text{○} \frac{\times}{\times}$$

$$=$$

- 乗法だけの式にする、
逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\left(-\frac{14}{3}\right) \div 7$$

$$= \left(-\frac{14}{3}\right) \times \frac{\quad}{\quad}$$

$$= \text{○} \frac{\times}{\times}$$

$$=$$

$$\left(-\frac{2}{5}\right) \div \left(-\frac{3}{5}\right)$$

$$= \left(-\frac{2}{5}\right) \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= \text{○} \frac{\times}{\times}$$

$$=$$

$$(-4) \div \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= (-4) \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= \text{○} \frac{\times}{\quad}$$

$$=$$

約分を伴う計算⑦

例題

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

$$\begin{aligned}
 & -\frac{10}{3} \div 10 \\
 = & -\frac{10}{3} \times \frac{1}{10} \\
 = & -\frac{10 \times 1}{3 \times 10} \\
 = & -\frac{1}{3}
 \end{aligned}$$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{5}{3}\right) \times \frac{7}{15} \div \frac{5}{6} \\
 = & \left(-\frac{5}{3}\right) \times \frac{7}{15} \times \frac{6}{5} \\
 = & \text{○} \frac{\times \times}{\times \times} \\
 = &
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする、逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & (-9) \div \frac{3}{2} \times (-3) \\
 = & (-9) \times \frac{2}{3} \times (-3) \\
 = & \text{○} \frac{\times \times}{\times} \\
 = &
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{8}{9}\right) \times \frac{3}{4} \div \left(-\frac{1}{6}\right) \\
 = & \left(-\frac{8}{9}\right) \times \frac{3}{4} \times \left(-\frac{6}{1}\right) \\
 = & \text{○} \frac{\times \times}{\times} \\
 = &
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & (-6) \div \frac{9}{4} \times 10 \\
 = & (-6) \times \frac{4}{9} \times 10 \\
 = & \text{○} \frac{\times \times}{\times} \\
 = &
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned} & (-5) \div \left(-\frac{5}{12}\right) \\ &= (-5) \times \left(-\frac{12}{5}\right) \\ &= \frac{5 \times 12}{5} = 12 \end{aligned}$$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$8 \times \left(-\frac{5}{12}\right)$$

= ○

$$\frac{4}{9} \div \left(-\frac{1}{3}\right)$$

= $\frac{4}{9}$

=

$$(-4) \div \frac{2}{3}$$

= (-4)

= ○

$$\left(-\frac{9}{8}\right) \div \left(-\frac{3}{4}\right)$$

=

=

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

- ④ 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ⑤ 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ⑥ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned}
 & 8 \times \frac{1}{4} \\
 & = \frac{\cancel{8}^2 \times 1}{\cancel{4}_1} \\
 & = \frac{2}{1} \\
 & = 2
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & 10 \times \left(-\frac{1}{5}\right) \\
 & = \textcircled{-} \frac{10 \times 1}{5} \\
 & = -2
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{5}{6}\right) \times 9 \\
 & = \textcircled{-} \frac{5 \times 9}{6} \\
 & = -\frac{15}{2}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & (-8) \times \left(-\frac{5}{12}\right) \\
 & = \textcircled{+} \frac{8 \times 5}{12} \\
 & = \frac{10}{3}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{2}{9}\right) \times (-3) \\
 & = \textcircled{+} \frac{2 \times 3}{9} \\
 & = \frac{2}{3}
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned}
 & -\frac{10}{3} \times \frac{9}{10} \\
 & = -\frac{\cancel{10}^1 \times 9}{3 \times \cancel{10}_1} \\
 & = -\frac{3}{1} \\
 & = -3
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{3}{4}\right) \times \left(-\frac{4}{9}\right) \\
 & = \textcircled{+} \frac{3 \times 4}{4 \times 9}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{6}{5}\right) \times \frac{4}{9} \\
 & = \textcircled{-} \frac{6 \times 4}{5 \times 9}
 \end{aligned}$$

$$= \frac{1}{3}$$

$$= -\frac{8}{15}$$

$$\begin{aligned}
 & \frac{5}{9} \times \left(-\frac{4}{15}\right) \\
 & = \textcircled{-} \frac{5 \times 4}{9 \times 15}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{12}{7}\right) \times \left(-\frac{5}{2}\right) \\
 & = \textcircled{+} \frac{12 \times 5}{7 \times 2}
 \end{aligned}$$

$$= -\frac{4}{27}$$

$$= \frac{30}{7}$$

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned} & \frac{9}{8} \times \left(-\frac{4}{9}\right) \times \left(-\frac{5}{3}\right) \\ &= \frac{9 \times 4 \times 5}{8 \times 9 \times 3} \\ &= \frac{5}{6} \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned} & \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{6}{5} \times \frac{5}{9} \\ &= \text{○} \frac{1 \times 6 \times 5}{2 \times 5 \times 9} \end{aligned}$$

$$= -\frac{1}{3}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned} & 12 \times \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{5}{9} \\ &= \text{○} \frac{12 \times 1 \times 5}{2 \times 9} \end{aligned}$$

$$= -\frac{10}{3}$$

$$\begin{aligned} & \frac{3}{8} \times \left(-\frac{4}{7}\right) \times \left(-\frac{4}{3}\right) \\ &= \text{○} \frac{3 \times 4 \times 4}{8 \times 7 \times 3} \end{aligned}$$

$$= \frac{2}{7}$$

$$\begin{aligned} & \left(-\frac{6}{7}\right) \times (-4) \times \left(-\frac{2}{3}\right) \\ &= \text{○} \frac{6 \times 4 \times 2}{7 \times 3} \end{aligned}$$

$$= -\frac{16}{7}$$

約分を伴う計算④

例題

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

$$\begin{aligned}
 & (-3) \times \left(-\frac{2}{15}\right) \times (-5) \\
 &= -\frac{3 \times 2 \times 5}{15} \\
 &= -\frac{2}{1} = -2
 \end{aligned}$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & (-10) \times \left(-\frac{5}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \frac{5}{6} \\
 &= \frac{25}{3}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{9}{14}\right) \times \left(-\frac{7}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \frac{7}{6} \\
 &= \frac{3}{4}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{4}{7}\right) \times 14 \\
 &= \text{○} \times 14 \\
 &= -8
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{9}{10}\right) \times \left(-\frac{2}{3}\right) \times \left(-\frac{5}{6}\right) \\
 &= \text{○} \times \frac{2}{3} \times \frac{5}{6} \\
 &= -\frac{1}{2}
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

逆数

4の逆数 $\rightarrow \frac{1}{4}$

-5の逆数 $\rightarrow \left(-\frac{1}{5}\right)$

$\left(-\frac{4}{3}\right)$ の逆数 $\rightarrow \left(-\frac{3}{4}\right)$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$6 \div \left(-\frac{3}{2}\right)$$

$$= 6 \times \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= -4$$

- 乗法だけの式にする、
逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\frac{8}{9} \div \left(-\frac{3}{2}\right)$$

$$= \frac{8}{9} \times \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= -\frac{16}{27}$$

$$\left(-\frac{2}{7}\right) \div (-4)$$

$$= \left(-\frac{2}{7}\right) \times \left(-\frac{1}{4}\right)$$

$$= \frac{1}{14}$$

$$\frac{3}{2} \div \left(-\frac{5}{7}\right)$$

$$= \frac{3}{2} \times \left(-\frac{7}{5}\right)$$

$$= -\frac{21}{10}$$

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば - (マイナス)
負の数が偶数であれば + (プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

逆数をかける

$$\frac{2}{3} \div \left(-\frac{5}{6}\right)$$

↓ ↓

$$= \frac{2}{3} \times \left(-\frac{6}{5}\right)$$

☆ 次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\frac{2}{3} \div \left(-\frac{7}{3}\right)$$

$$= \frac{2}{3} \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= -\frac{2}{7}$$

- 乗法だけの式にする、
逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\left(-\frac{14}{3}\right) \div 7$$

$$= \left(-\frac{14}{3}\right) \times \frac{\quad}{\quad}$$

$$= -\frac{2}{3}$$

$$\left(-\frac{2}{5}\right) \div \left(-\frac{3}{5}\right)$$

$$= \left(-\frac{2}{5}\right) \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= \frac{2}{3}$$

$$(-4) \div \left(-\frac{2}{3}\right)$$

$$= (-4) \times \left(-\frac{\quad}{\quad}\right)$$

$$= 6$$

約分を伴う計算⑦

例題

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

$$\begin{aligned}
 & -\frac{10}{3} \div 10 \\
 = & -\frac{10}{3} \times \frac{1}{10} \\
 = & -\frac{10 \times 1}{3 \times 10} \\
 = & -\frac{1}{3}
 \end{aligned}$$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{5}{3}\right) \times \frac{7}{15} \div \frac{5}{6} \\
 = & \left(-\frac{5}{3}\right) \times \frac{7}{15} \times \text{---} \\
 = & -\frac{14}{15}
 \end{aligned}$$

- 乗法だけの式にする、逆数をかける
- 答えの符号が決まる
- 約分の確認
- 計算する

$$\begin{aligned}
 & (-9) \div \frac{3}{2} \times (-3) \\
 = & (-9) \times \text{---} \times (-3) \\
 = & 18
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & \left(-\frac{8}{9}\right) \times \frac{3}{4} \div \left(-\frac{1}{6}\right) \\
 = & \left(-\frac{8}{9}\right) \times \frac{3}{4} \times \left(-\text{---}\right) \\
 = & 4
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 & (-6) \div \frac{9}{4} \times 10 \\
 = & (-6) \times \text{---} \times 10 \\
 = & -\frac{80}{3}
 \end{aligned}$$

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

- ① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。
わる数の逆数をかける。
- ② 積の符号は、負の数が奇数であれば -(マイナス)
負の数が偶数であれば +(プラス)
- ③ 約分できるところがあるかを確認する。

例題

$$\begin{aligned} & (-5) \div \left(-\frac{5}{12}\right) \\ &= (-5) \times \left(-\frac{12}{5}\right) \\ &= \frac{5 \times 12}{5} = 12 \end{aligned}$$

☆次の計算の続きをしましょう。

○の中には符号(+、-)を書きましょう。

$$\begin{aligned} & 8 \times \left(-\frac{5}{12}\right) \\ &= -\frac{10}{3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \frac{4}{9} \div \left(-\frac{1}{3}\right) \\ &= -\frac{4}{3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (-4) \div \frac{2}{3} \\ &= -6 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \left(-\frac{9}{8}\right) \div \left(-\frac{3}{4}\right) \\ &= \frac{3}{2} \end{aligned}$$

